

事業コード	02010403	政策コード	02	政策名	国内外に打って出る攻めの農林水産戦略				
事業名	畜産全国大会応援事業	施策コード	01	施策名	"オール秋田"で取り組むブランド農業の拡大				
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	指標コード	04	施策目標(指標)名	新たな需要創出による比内地鶏等の出荷拡大と畜産を核とした地域活性化		
		班名	生産振興班	(tel)	1807	担当課長名	土田正広	担当者名	田中宣久
評価対象事業(計画)の内容							事業年度	平成27年度 ~ 平成27年度	
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 多数の畜産関係者が集まる全国規模の大会は、本県の畜産を全国に発信できる絶好の機会であるとともに、大会参加者においては、情報交換を通じ自身の知識・技術の研鑽及び意識醸成の場となることから、畜産関係の全国大会への参加及び開催に対して支援を行い、本県畜産の一層の盛り上げを図る。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 大会を契機に、各畜産組織・農家がお互いに連携を図り、本県畜産が一層盛り上がりを見せ、県内畜産業全体の生産拡大や生産性の向上が図られる。 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望				
2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: H26 年 09 月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に 各大会主催者及び参加予定者からの要望や意見交換) ニーズの具体的内容 全国に向け秋田の畜産をPRする絶好の機会であることや、参加者の知識・技術の研鑽を図れる唯一の場であることから、県をはじめ市町村、関係団体などに対し広く支援を求めている。					4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 日本ホルスタイン登録協会、日本獣医師会、モーモー母ちゃんの集い実行委員会 事業の対象者・団体 酪農家、獣医師、女性畜産農家等 達成のための手段 全国ホル共進会: 確実な出品頭数の確保と上位入賞を目指した出品牛の選抜 獣医師年次大会: スムーズな大会開催のための人的支援と参加者への情報発信 モーモー母ちゃん: スムーズな大会開催のための人的支援と参加者への情報発信				
把握していない場合の理由及び今後の方針							比較した代替手段及び選択した手段の有効性		
理由							各大会とも多額の費用が発生するため、主催者及び参加者のみで開催することは困難であり、全国的にも参加・開催において同等の支援を行っていることから、本取組以外の代替手段はない。		
今後の方針									
5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)									
順位	事業内訳	左の説明	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	全体(最終)計画
01	第14回全日本ホルスタイン共進会	5年に一度開催される全国規模の乳用牛共進会であり、その開催に必要な県負担金を支払うとともに、出品者の参加に要する経費に対して助成する。	3,062						
02	平成27年度獣医学術学会年次大会	全国で様々な職域で活躍する獣医師が一堂に会し、学術や活動成果を発表し技術の研鑽を図る場であり、その大会の開催に必要な経費に対して助成する。	3,000						
03	第8回全国モーモー母ちゃんの集いinあきた	全国の肉用牛経営、酪農経営に携わる女性が一堂に会し、経営の枠を超えて情報交換や相互交流を図る大会であり、その開催に必要な経費に対して助成する。	1,306						
財源内訳			7,368						
国庫補助金									
県債									
その他			3,062						
一般財源			4,306						
繰入金: 農林漁業振興臨時対策基金繰入金			3,062						

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 各大会に参加することによる参加者の技術研鑽と意識醸成により畜種を超えた連携が図られ畜産全体の生産性が向上される。

指標	指標名	共進会の出品牛の確実な確保							指標の種類
	指標式	出品頭数 / 秋田県出品枠 (13頭) * 100							成果指標 業績指標
	年度別の目標値 (見込まれる成果による指標)								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a			100					
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	大会成績							

把握する時期 当該年度中 11月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名	各種大会の参加者数							指標の種類
	指標式	実際の大会参加者数 / 大会予定参加者数 (獣医師大会: 2,000人、モーモーちゃん: 500人) * 100							成果指標 業績指標
	年度別の目標値 (見込まれる成果による指標)								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a			100					
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	大会実績							

把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 本県で全国規模の大会が開催される数少ない機会であることから、県内の畜産農家や関係者が一丸となって畜産を盛り上げようという気運が高まっており、県農政の重点課題となっている複合型生産構造への転換に向けた本県畜産の発展のため、本事業の必要性は高い。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 本県畜産産業の活性化に向けた絶好の機会であるものの、各大会開催及び参加には多額の費用が伴うため、関係する生産者及び団体から県による支援が強く求められており、本事業の必要性は高い。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

開催地など関係する市町村等からも支援は行っているものの、県全体の畜産振興に資する取組であることから、県が関与する必要性が高い。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他